

# 「人とペットの防災フェスティバル」(小田原市橋北地区)に参加して 県西ブロック災害対策エリアコーディネーター 矢部 則明(唐木整形外科)

平成 30 年 5 月 20 日(日)ペット防災の啓発に取り組む NPO 法人「防災ペット育成協会」(以下 BSP 協会)主催、小田原市橋北地区自治会連合会共催(後援は小田原市・中井町)による「人とペットの防災フェスティバル」が小田原市橋北地区にある下中小学校で開催されました。今回このイベントに神奈川県理学療法士会(県西ブロック)としてブース出展する機会を得られたので、その内容についてご報告いたします。

主催の BSP 協会は飼い主とペットが安心して避難できる体制を作る為、昨年 8 月に発足し県西地区をエリアに行政機関や地域と連携し、イベントやセミナー防災訓練などの参加を通じて、ペットを連れて避難する「同行避難」の普及・啓発活動に取り組まれています。

フェスティバルは小学校の校庭と体育館で行われました。体育館では同行避難に必要な、しつけ教室やペット用品の備蓄品の展示、炊き出し訓練や非常用電源として使える車の展示等に加えキッチンカーや地域のサークル活動のお披露目もあり、家族みんなで楽しみながら防災について考えていける工夫がされていました。

一方、体育館では災害時の救助救護訓練や福祉体験「車イス介助法」「視覚障がい者たちとの接し方」「高齢者疑似体験」のイベントがあり、県西ブロックからは「生活不活発病」「深部静脈血栓症」や県理学療法士会の災害対策への取組等のパネル展示やパンフレット配布を行い、また災害対策グッズとして段ボールベッドや段ボールトイレ、便利な災害対策の小物等の展示を行いました。



今回は、県西地区リハビリテーション連絡協議会から PT4 名が参加、社会福祉協議会スタッフ担当の「車イス介助法」にも少しですが協力もさせていただきました。避難所で使う段ボールベッドへの関心は高く、頑丈さに対する驚きだけでなく価格が高いとのことのご意見や、サイズの的に備蓄できないので災害時に急遽大量発注して調達することは可能か、といったご質問も聞かれました。専門的知識のニーズも増えてきており、業者に参加してもらいデモや質問に対応してもらうことも必要です。

防災フェスティバルの参加者人数は概算で約 700 名、ペットは約 200 頭とのことでした。交通の便があまり良くない場所にも関わらず多くの方が来場していただけたことから、住民の方の災害に対する意識が高くなっている事がわかります。体育館内でしたが私たちのブースにも 40 名ほどの方が来ていただけました。お子様連れのご家族が多かったのが印象的で、これからは子供にも興味を持ってもらえるような工夫が必要かと思えます。BSP 協会は今後も自治体と連携して県西地区を回ってイベントを開催する予定とのこと、県西ブロックもできるだけ参加し、自治体と上手く連携して災害対策支援の土台を築いていくことが今後の活動の課題と考えています。

最後に今回のイベント参加のきっかけを与えていただいた露木理事、BSP 協会広報の中川ユーイング社長、段ボールベッドやパンフレットでご尽力いただいた下田災害対策委員長、今回も準備をお手伝いしていただいた前田ブロック長、当日手伝いに来ていただいたスタッフに心より感謝の言葉を申し上げます。

家族みんなで楽しみながら  
防災について考えていただくイベントです

## 人とペットの防災フェスティバル

5/20(日)  
時間:12時~16時  
雨天中止  
場所 小田原市立下中小学校  
神奈川県小田原市小笠175番地  
参加無料!ペットも一緒に来てね~

ペット防災相談・わんちゃんしつけ教室  
人の心診察生・人もペットも備蓄品展示  
人の心診察生・人もペットも備蓄品展示  
震災時LPガスの取換方法  
訓練犬デモンストラーション

炊出し訓練(体験) 炊飯・果汁各種実(よるへ体験) 非常食アルファ米の試食体験(体験) 災害時の救助救護訓練・消火体験 非常用電源として使える車の展示・民間救急車展示・防災グッズの取換! 福祉体験「車イス介助法」「視覚障がい者の方たちとの接し方」「高齢者疑似体験」 ママさん子ども頭の防災ダンス 市川警察署様(十八番) 12月19日 自衛隊の方々も参加していただきます! 参加団体・企業の出展ブース

ポップコーン  
スーパーボールすくい  
わたあめ 等々

無料

※NPO 法人防災協会・ペット育成協会 <https://www.bsp-japan.org/>  
共催: 橋北地区自治会連合会 後援: 小田原市・中井町

